

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針等>

当社の社訓は、「人を磨き、技術を磨き常に挑戦する技術者集団」としており、この考えは持続可能な開発目標であるSDGsと方向性を同じくするものである。この考え方にに基づき、DX推進を積極的に行い、業務の効率化を図ることで従業員が働きやすい職場環境づくりを目指し、また高度な技術により、地域住民が安心・安全に暮らせる地域づくりに寄与する。

<今期のSDGsに関する重点的な取組、指標及び実績>

三側面	取組の状況	前期の指標	実績
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	BIM/CIMに積極的に取組み、DXを推進することで、業務効率化を図り生産性向上に努める。	BIM/CIMのソフトを3台購入する。	BIM/CIMソフト購入 R5:2台 R6:2台
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	若者が県内に就職する取り組みを積極的に行い、持続可能な地域社会づくりに貢献する。	学生のインターンシップの受入、新卒者の採用。	インターンシップ受入 R6:3名 内定 R7:2名 (R8:3より入社予定)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	二酸化炭素の排出量の記録及び排出量の削減。	現在、未実施である二酸化炭素の排出量を2023年度より記録し、排出量を削減する。	CO ₂ 排出量 R5:62.996t R6:64.306t R7:66.065t

・「取組の状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組の実施状況やと指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

<今期の評価>

重点的な取組としてあげた「1.BIM/CIMへの積極的な取組」「2.若者が県内に就職する取り組みを積極的に行う」については、数値目標を達成しており、来期以降も重点的に取り組む。「3.二酸化炭素の排出量の記録及び排出量の削減」については、災害現場や遠方の現場へ出向くことが多く、ガソリンの使用量が増えたため、排出量の削減は達成されなかった。来期以降は、電気使用量の削減を重点的に取り組み、二酸化炭素の排出量削減を目指す。

・SDGsの取組全体について、今期の振り返りや来期の展望などを記載してください。

<次期のSDGs達成に向けての重点的な取組、及び指標>

三側面	SDGsに関する重点的な取組	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	DXを推進することで、業務効率化を図り生産性向上に努める。	毎年度DX化に向けた新たな取組を行う。
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	若者が県内に就職する取組を積極的に行い、持続可能な地域社会づくりに貢献する。	学生のインターンシップの受入、新卒者の採用。
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	二酸化炭素の排出量の記録及び電気使用量の削減。	電気使用量を削減する。

・「SDGsに関する重点的な取組」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

<SDGs達成に向けてのパートナーシップ>

災害発生時に、国や県・市と締結している災害支援協定に基づき、被災地支援にあたっている。

- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。